

脾臓移植希望者(レシピエント)選択基準 新旧対照表

別紙 5

改正後	現行基準
<p>1. 適合条件</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) <u>前感作抗体</u></p> <p>1. 事前に抗H L A抗体検査（スクリーニング検査又は抗体特異性同定検査）を実施し、陰性の場合は、リンパ球交叉試験を省略する。</p> <p>2. 抗H L A抗体検査が未実施又は陽性の場合は、リンパ球交叉試験を実施し、陰性であることを確認する。</p> <p>3. ただし、肝脾小腸同時移植を目的として、脾臓移植希望者（レシピエント）への登録を行う場合は、リンパ球交叉試験を実施する必要はない。</p>	<p>1. 適合条件</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) <u>リンパ球交差試験（全リンパ球又はTリンパ球）陰性</u></p>
<p>2. 優先順位</p> <p>適合条件に合致する移植希望者（レシピエント）が複数存在する場合には、優先順位は、以下の順に勘案して決定する。</p> <p>なお、肝脾小腸同時移植のために、脾臓移植希望者（レシピエント）に登録している場合は、（2）～（4）は勘案しない。</p>	<p>2. 優先順位</p> <p>適合条件に合致する移植希望者（レシピエント）が複数存在する場合には、優先順位は、以下の順に勘案して決定する。</p>
<p>(1)～(4) (略)</p>	<p>(1)～(4) (略)</p>
<p>(5) 脾臓移植（腎移植後脾臓移植、脾単独移植）と脾腎同時移植と肝脾小腸同時移植</p>	<p>(5) 脾臓移植（腎移植後脾臓移植、脾単独移植）と脾腎同時移植</p>
<p>① 臨器提供者（ドナー）から脾臓及び腎臓（2名の腎臓移植</p>	<p>① 臨器提供者（ドナー）から脾臓及び腎臓（2名の腎臓移植</p>

脾臓移植希望者(レシピエント)選択基準 新旧対照表

<p>希望者(レシピエント)に提供される場合に限る。)の提供があつた場合には、脾腎同時移植、腎移植後脾臓移植、脾単独移植の順に優先される。ただし、脾腎同時移植希望者(レシピエント)が優先されるのは、D R座の1マッチ以上のH LA型の適合がある場合に限る。</p> <p>② ①以外の場合には、脾腎同時移植以外の希望者については、腎移植後脾臓移植、脾単独移植の順に優先される。</p> <p>③ <u>①、②に該当するレシピエントがない場合は、肝脾小腸同時移植希望者(レシピエント)にあつせんされる。</u></p> <p>(6) ~ (10) (略)</p>	<p>希望者(レシピエント)に提供される場合に限る。)の提供があつた場合には、脾腎同時移植、腎移植後脾臓移植、脾単独移植の順に優先される。ただし、脾腎同時移植希望者(レシピエント)が優先されるのは、D R座の1マッチ以上のH LA型の適合がある場合に限る。</p> <p>② ①以外の場合には、脾腎同時移植以外の希望者については、腎移植後脾臓移植、脾単独移植の順に優先される。</p> <p>(新設)</p> <p>(6) ~ (10) (略)</p>
--	--